

# 農地・水・環境保全だより第56号

編集・発行 三重県農地・水・環境保全向上対策協議会

## 「多面的機能の維持・発揮活動 第14回みえのつどい」を開催しました

令和5年12月23日（土）三重県総合文化センターにおいて、『明日へとつながる、みえの輪』をテーマに第14回みえのつどいを三重県、三重県農地・水・環境保全向上対策協議会の主催で開催しました。

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことを受け、参加者の人数制限を設けずカフェテリア方式でのワークショップも再開し、県内の活動組織や県内外の関係者約1,050名の参加がありました。

「みえのつどい」は、平成20年度から継続している大規模イベントで、このイベントに参加される活動組織が他組織の活動事例や取組姿勢に触れることで、今後の農地・水・環境の良好な保全活動をより一層活発に取り組んでいただくためのきっかけ作りの場としても活用いただいております。今回のつどいでは地域活動の担い手人材の発掘・育成といった観点での基調講演と3つの分科会を行いました。

当日は三重県廣田副知事の主催者挨拶の後、全国水土里ネットワーク会長会議宮崎顧問、農林水産省東海農政局森局長及び三重県議会杉本副議長からご祝辞をいただきました。



廣田副知事の挨拶



基調講演の様子

その後、基調講演では、有限会社エコカレッジ代表取締役 尾野寛明氏より『地域の担い手人材発掘・育成』と題してご講演をいただき、尾野氏の経験や知見を通して、「無理しない地域づくり」の考え方や「次世代の担い手を地域の活動に巻き込む」ヒントを学びました。

休憩後、参加者は各テーマごとに3つの会場に分かれ分科会の研修を受けました。

第1分科会では、「地域資源を守る基礎知識を学ぼう」をテーマに農研機構による機械の安全使用と補修技術の説明を受けました。



第1分科会の様子

第2分科会では、「田んぼダムによる流域治水」をテーマに新潟大学吉川教授による田んぼダムのしくみ、田んぼダムの効果等の講演を受けました。



第2分科会の様子

第3分科会では、「広域化への道のり」をテーマに、多気の彩土里会 小林会長による事例発表の後、グループに分かれ意見交換を行いました。



第3分科会の様子



企業PR展示コーナーの様子

また、セミナー室Aの農業や農業施設の維持に関する最新の技術や製品を紹介する企業PR展示コーナーでは、多くの参加者が会場内に設けられた企業ブースを移動し、興味あるブースの担当者から説明を受けていました。併設のセミナー室Bでは、安全研修・組織運営・補修技術DVD放映を行い、より良い活動のヒントにさせていただくことができました。

また、中ホールロビー、多目的ホールロビーでは、活動組織紹介、田んぼダムの紹介、三重県からのPRが展示され参加者は時間の合間を見計らって見入っていました。



中ホールロビーの様子

上記内容をもって、「第14回みえのつどい」は盛会裏に終了しました。

今後もこうした「みえのつどい」の場を通じて、県内の農地・水・環境の良好な保全活動を支援してまいります。

## INTERVIEW

## 多面に輝く人たち



Vol. 6

県内各地でご活躍の皆様を「多面に輝く人たち」と題してスポットをあててご紹介します。  
今回は、津市榑原町で多面的機能支払交付金活動をする「榑原みずすまし会」の事務をしている北尾さんをご紹介します。

### 「榑原みずすまし会」です！

農地維持支払活動、資源向上支払活動(共同・長寿命化)に取り組んでおり、対象農用地面積は140haです。地域をあげて田んぼアートを実施するなど、地域内外の方々との交流と、豊かな農地の保全に努めています！



#### 活動に関わるきっかけを教えてください！

当時の組織の代表と父が知り合いだったこともあり、代表からお声がけいただいたのがきっかけです。生まれ育った地域の力になりたいと思い参加させていただきました。

#### 組織の中での役割を教えてください！

活動記録や金銭出納簿といった書類作成や、月に一度開催される役員会の資料の作成を主に担当しています。

#### 活動に関わり良かった点を教えてください！

多面的機能支払交付金を活用して地域の農地が保全されており、とてもよい仕組みで、ありがたいと思っています。活動に関わることで、取り組みの内容を深く知ることができますし、地域のために尽力されている方もふれあえる貴重な機会ですので、関わる事ができて良かったと、実感しています。

#### 活動で大切にしていることを教えてください！

地域の農地が保全されていくためには、活動を継続していくことがとても大切だと思っています。本交付金の活動を通して地域の方と交流を深め、まずは組織について知ってもらい、多くの方に関わってもらいたいと思っています。

#### 組織のアピールポイントを教えてください！

水路・ため池・農地の維持管理・各施設の補修・田んぼアートといった取り組みを地域のために積極的に実施しています。特に、田んぼアートは地域外からの参加者も多く、子どもたちも毎年楽しみにしているイベントで、地域の活性化に繋がっていると思います。

#### どんな組織ならさまざまな方が参加しやすい？

地域住民の方に参加していただけるような活動やイベントを実施することで、組織の必要性や実施内容などを知ってもらう機会になると思います。そのような活動を通して、参加された方が、まずは興味を持っていただくことが多様な方の参加に繋がると思います。

## INTERVIEW

## 多面に輝く人たち



## Vol.7

県内各地でご活躍の皆様を「多面に輝く人たち」と題してスポットをあてて、ご紹介します。  
今回は、桑名市嘉例川地域の『かれがわふる里活動隊』の活動を支えている増田ちえみさんをご紹介します。



### かれがわふる里活動隊

農業用施設の維持管理や補修に加え、生態系保全に関する活動や、そばの種まき・収穫・そば打ち体験など、地域の魅力ある資源を活用した、子どもたちも楽しめる活動に取り組んでいます！

#### 活動に関わるきっかけを教えてください！

組織ができた当時、既に土地改良区の事務員をしており、多面の活動にも当初から関わっています。

#### 組織の中での役割を教えてください！

活動記録や金銭出納簿といった書類作成、活動写真の撮影など、事務作業を担当しています。

#### 活動に関わり良かった点を教えてください！

生きもの調査やそばの体験活動を通じて、子どもたちと関わるのが嬉しいです。

#### 活動で大切にしていることを教えてください！

子どもたちに地区全体で守っている生きものをもっと広めて、興味をもってもらい、将来お手伝いしてもらえたら、という思いを持って取り組んでいます。また、そばの体験を通じて、食べれるそばがどうやって出来るのかを知ってもらえればと考えています。

#### どんな組織ならさまざまな方が参加しやすい？

普段から農業に携わっている方は少なく、組織のことをあまり知らない方もいる中で、いま取り組んでいる生きものに関する活動やそばの体験のような子どもたちと関わる活動、イベントのようなものを実施することが、女性など多様な方の参画のきっかけとなると思います。

#### 組織のアピールポイントを教えてください！

この地域には「ヒメタイコウチ」や「ホトケドジョウ」が息しており、農業用施設の維持管理とは別で行っている生態系保全のための草刈りは、地区全体で行っています。小学校での生きもの展示への協力や、魚とり、ホタル観賞など、子どもたちが生きものと触れ合える機会をつくっています。

また、子どもたち向けに、そばの種まき・そばの実収穫・そば打ち体験も行い、地域の魅力を伝えています。

地域に生息する「ヒメタイコウチ」を  
小学校へお届け！  
パネル展示もしています！  
子どもたちは興味津々♪



地元の小学校での生きもの展示

9月の種まきから約70日後…  
たくさん実ったそばの実をみんなで一つ一つ収穫♪

そばの実の収穫体験

